

今日から始める、わが家の水害対策

6月から10月にかけては、水害が発生しやすい「出水期」と呼ばれています。水害から大切な家族や住まいを守るために大切なことは、事前の「知る備え」と「早めの行動」です。「もしも」の時に備えて、避難場所や非常持ち出し品のチェックを進めておきましょう。

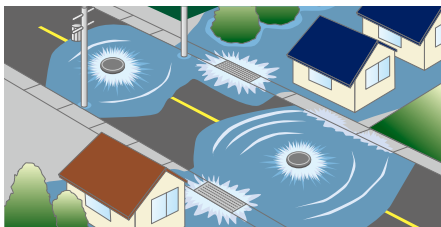
大阪市で想定される大雨や台風による水害

河川氾濫



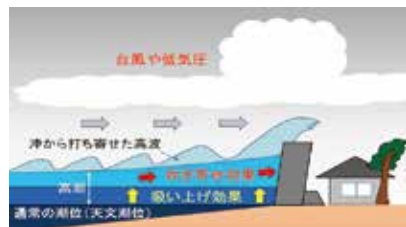
河川の増水により堤防が壊れたり、水があふれだして浸水します。

大雨による浸水(内水氾濫)



大雨が降ったり河川の増水で十分に排水できなくなると、雨水があふれ、住宅地や道路などが冠水します。

高潮

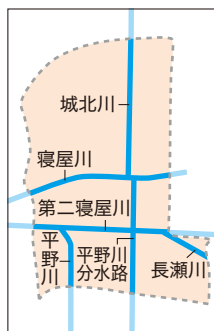


台風や発達した低気圧の接近により、海面(潮位)が平常時よりも高くなる現象。



城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」

城東区でも川から水があふれることがあるの？



城東区の河川イメージ図

はい、あります。大雨などで寝屋川が氾濫した場合、高いところで3m以上浸水すると想定されています。大阪は低地が広がり河川や運河が多く、大雨や高潮で浸水の恐れがあります。城東区も低く平坦な地形と河川・水路があるため、水害リスクに備えましょう。



じゃあ、どんな準備をすればいいの？

非常持ち出し品の準備やマイタイムラインを作成することで、いつ災害が発生しても対応できるようにしましょう！



区役所防災担当

！気象情報が新しくなりました！

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>					
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険直ちに安全確保!

●主な変更点●

- ①警報・注意報の情報に「レベル」が付記されました。
- ②警戒レベル4相当の情報は「危険警報」に、警戒レベル5相当の情報は「特別警報」に統一されました。
- ③従来の「洪水警報・注意報」が廃止され、河川の区分に応じて伝え方が変わります。

(例)「洪水警報」

「洪水予報河川※」→(新)「レベル3氾濫警報」

「洪水予報河川以外の河川」→

(新)「レベル3大雨警報」

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川